

なるほど！ザ・ファンド Q & A

Vol.162



国内外の株式を長期保有していた場合、それぞれのリターンはどうなるの？



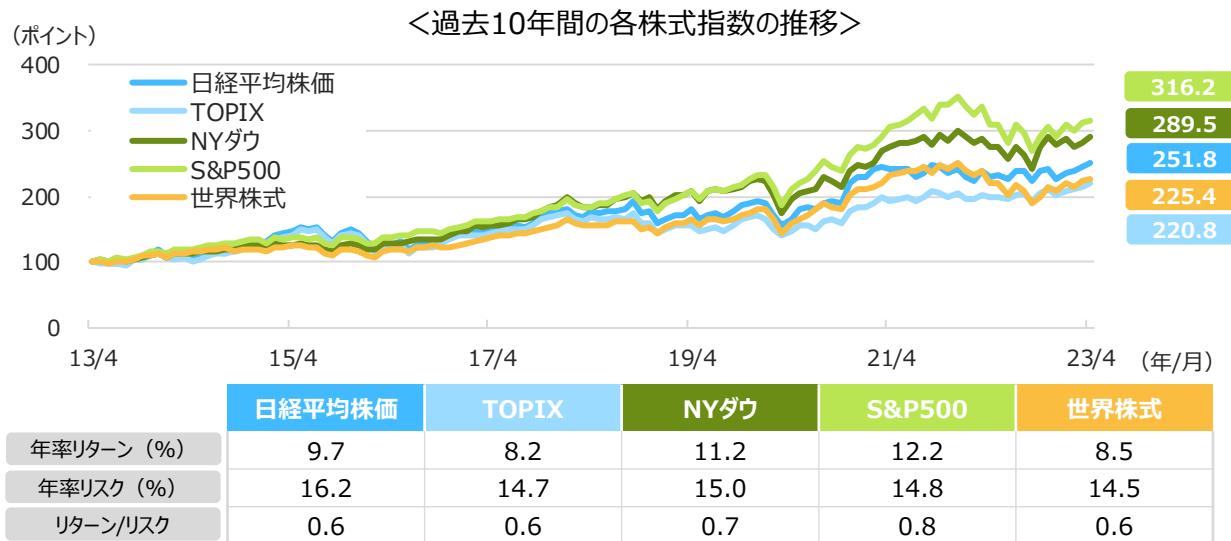
投資を開始するタイミングにより差はありますが、どの株式でもプラスのリターンが得られました。

過去10年間、20年間、30年間にわたって国内外の株式を保有した場合、いずれの期間においても米国株への投資成果が最も高くなりました。また、過去30年間の投資成果は振るわなかつた日経平均株価も、アベノミクス以降の上昇によって、過去10年間のリターンは世界株式を上回っています。

また、リスクあたりのリターンをみると、米国株式が相対的に高く、投資効率が高いことがわかります。

いずれの株式指数も、一時的に大きく変動することははあるものの、今後も成長が見込まれる世界経済を背景に、中長期的な成長が期待されます。

各株式指数の推移①



(注1) 過去10年間の各株式指数の推移は2013年4月末～2023年4月末、月次。2013年4月末を100として指数化。

(注2) 各株式指数はすべて配当込み。世界株式はMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス。

(注3) リターンは同期間の累積騰落率を年率換算、リスクは同期間の月次騰落率の標準偏差を年率換算。

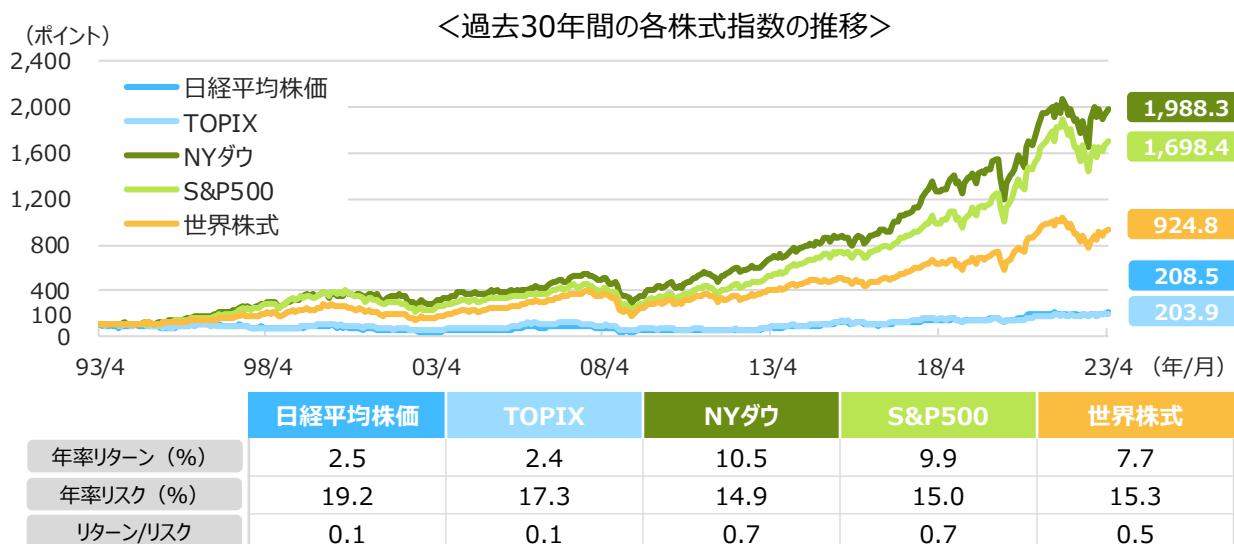
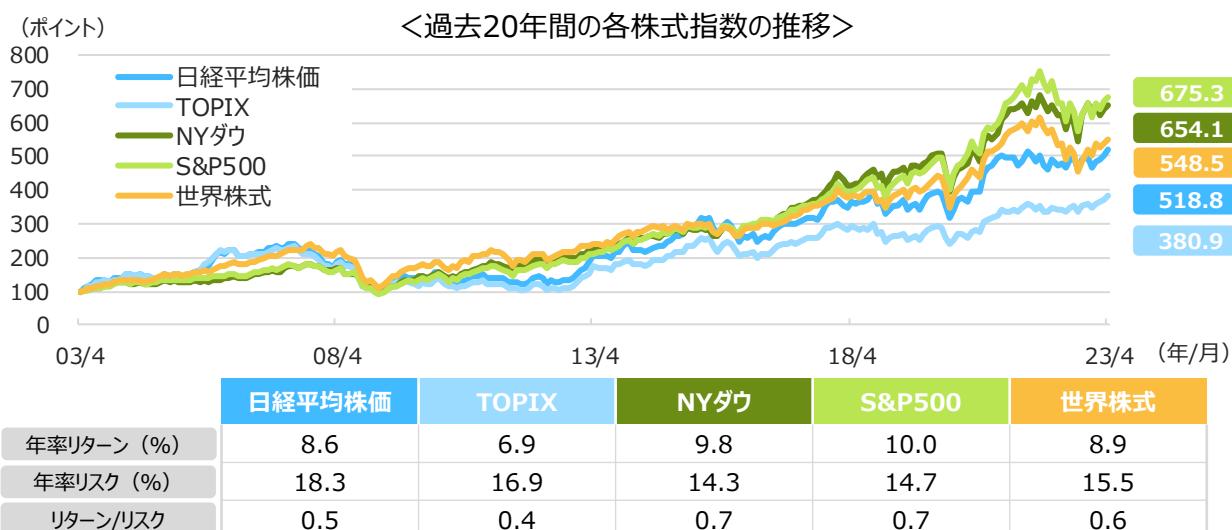
(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境を示唆あるいは保証するものではありません。

※この資料の最終ページに重要な注意事項を記載しております。必ずご確認ください。



各株式指数の推移②



(注1) 過去20年間の各株式指数の推移は2003年4月末～2023年4月末、月次。2003年4月末を100として指標化。過去30年間の各株式指数の推移は1993年4月末～2023年4月末、月次。1993年4月末を100として指標化。

(注2) 各株式指数はすべて配当込み。世界株式はMSCIオール・カントリー・ワールド・インデックス。

(注3) リターンは同期間の累積騰落率を年率換算。リスクは同期間の月次騰落率の標準偏差を年率換算。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※上記は過去の実績であり、今後の市場環境を示唆あるいは保証するものではありません。

【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

〈ご留意いただきたい点〉

■この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただきます。■リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。■リスク性商品を中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■くわしくは、三井住友銀行店頭の各商品の説明書等を必ずご覧ください。



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会